

胃内視鏡検診で発見された除菌後胃癌—除菌後サーベイランス期間の検討—

研究の対象となる方

2009年4月～2019年10月に予防医療センターで胃癌と診断された方

目的・方法

ピロリ菌除菌後は約30-40%程度胃癌発生リスクを軽減できることは判明していますが、除菌後長期経過後に発見される除菌後胃癌の特徴は明らかになっておらず、また、除菌後どの程度のサーベイランス期間(経過観察期間)が必要であるかは明らかになっていません。そこで、この研究では、人間ドック胃内視鏡検診で発見された除菌後胃癌を対象として、除菌後長期間経過した後に発見される胃癌の特徴を明らかにし、除菌後に必要なサーベイランス期間を明らかにすることを目的としています。

この研究では診療記録から情報を収集し、患者さんの個人情報削除の上で実施します。診療の中で得られた情報のみを使用し、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究期間

2021年7月31日～2021年7月31日

研究に使用する情報

年齢、性別、除菌後から発見までの期間、胃癌の臨床病理学的所見など

お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 予防医療センター 主任 満崎克彦(研究責任者) 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上